

1 第1回（平成22年12月20日）

会議内容：各委員によるフリートーク

キーワード	発言要旨
イメージ戦略	「水」を旗印とした官民一体となった方向性の明確化
国際戦略	「海外市場戦略」の部局横断による検討及び提示 海外展開拠点となる「総合事務所」の設置 「長野」の知名度の活用
マーケティング	物産振興の部局横断的な組織の設置 森林の有効利用による林業の再生 市場だけでなく現場を踏まえたマーケティング戦略の策定 農産物の素材加工によるマーケット展開 市場から見た県産農産物の競争力強化、産業として成り立つ農業施策の展開 農業産出額減少、農業従事高齢化に対応した、支援策のあり方の議論を 観光と農業を結びつけた、長野県の食文化の積極的なPR 県外高齢者が再び長野県を訪れるような施策の検討
定住促進	大都市圏と連携した交流の展開、移住促進 U・Iターンの若者による県の魅力発掘、発信 県内で教育できる環境づくり 都会に住む若者が長野県に戻るような新産業、地域の繋がり
環境	環境エネルギー戦略タスクチームの発足 自然エネルギー市場に照準を グローバルな視点・ネットワークを持った地域レベル戦略の構築 ガソリン車乗り入れを排除した高原リゾートを作る施策を
産業構造	市場構造に合わせた長野県の産業構造を 国の成長戦略の「医療・介護」、「環境」、「観光」、「農業」、「林業」などの分野の資源の有効活用 6次産業（1次×2次×3次）を一步進め、7次産業（6次産業+医療、教育、観光）を
人づくり	教育・農業・商工業・環境の各分野で連携プロジェクトの展開 国際レベルの人材育成への徹底した投資 質の高い対人サービス分野の強化 不登校・引きこもり・発達障害の児童生徒等に対するITを活用した支援 国内外の児童生徒を対象に滞在型学習プロジェクトの展開 雇用のための超短期的な施策の実施

2 第2回（平成23年2月3日）

会議内容：基調講演と意見交換

- (1) 日本政策投資銀行 参事役 藻谷浩介氏による基調講演  
演題：「デフレ」の正体と長野県の活性化戦略

講演趣旨	国内消費の縮小は、人口減少、特に生産年齢人口の減少が原因。 高齢者人口が急激に増加しているが、長野県は高齢社会先進地である。 高齢者を新たな消費者と捉えた産業を考えるべき。 長野県は、スイスの様に少量生産、高付加価値商品のブランド化を目指すべき。
------	--

- (2) 基調講演後の意見交換

主な意見	海外においてブランドを確立するためには、イメージダウンに繋がる値下げ戦略を行わないこと。 農産物販売の海外戦略は、国内における農協、行政の販売方法では通用しない。 「長野」、「信州」の使い分けとして、国内向けには「信州」、海外向けには「長野」が良い。 日本の産業空洞化について、自力のある企業はいずれ中国からインドやその他の国々へシフトするが、やはり国内産業は、「手間」と「美意識」の2つを持って他国との違いを出す高付加価値の部品等を作り込むことが重要。 高齢者の貯蓄を消費に回すには、自分の健康に先行投資するよう長野県が提案していくべき。 日本の貯蓄1400兆円の金利分さえも消費に回らない状況。金利分だけでも信州で使ってもらいたい。
------	---